

清流

全国募集 大子清流高だより

第100号

(平成26年1月14日)

大子清流高等学校電話番号:0295-72-0079 HP: http://www.daigoseiryu-h.ed.jp

流氷(シガ)の便りがうれしいこの頃

1月8日(水) 平成26年の 12月11~20日

関議式を 行いました



「心を尽くして」と長山茂樹校長

「今やるべき事、大切なことに心を尽くして」と年頭の挨拶で、「自分に負けないで、今年一年を良い年にしよう」と述べられました



ワット・ポー寺院

第20回 日・タイ交流で タイ王国を訪問しました



歓迎セミナーで「上を向いて歩こう」



「High School」の文字が、後ろにはDaigo Seiryuの文字が

11月部 関東選抜大会出場 壮行会を行いました



応援団長大高詩織(大子)のエンゲルが体育館に響き渡り

1月17日から栃木県小山南高校で開催される関東選抜大会に出場するウェイトリフティング部の選手7名の壮行会を行いました。



エラット寺院から王宮へ



ワット・ポー寺院



ワット・ポー寺院



釈迦涅槃

今年、全国総文祭が 茨城で開催されます

7/27~31

2013年(平成25年)12月28日 土曜日

1月5・6日 ブリティッシュ・ヒルズ で語学研修を行いました



門をくぐればそこは、別世界 映画『ハリ・ポッター』に出てくようなマントに身を包み



未体験の英語の世界が待っていた ホクワ魔法学校を思わせる

23名の希望者を集め第2回の語学研修を行いました。

12月21~31日、1月2~7日

冬期課外を 行いました



元旦を除く毎日、センター試験向けの課外を行いました。

生徒の夢を実現させる為には、 労を惜しみません。

高校生、カスミと商品開発

2013年(平成25年)12月28日 土曜日

弁当で大会PR

来年7月いばらき総文祭(茨城)の開催をPRする為、本校生徒がカスミと協力して、オリジナルの弁当を開発しました。

「カスミ」は、茨城県産の食材を使用した、健康志向の弁当です。本校生徒が、カスミと協力して、オリジナルの弁当を開発しました。

一部店舗販売へ

本校生徒が、カスミと協力して、オリジナルの弁当を開発しました。

H.25.12.28 茨城新聞から

今年、産産健康センター(茨城)で開催される「第20回 日・タイ交流」の開催をPRする為、本校生徒がカスミと協力して、オリジナルの弁当を開発しました。

「カスミ」は、茨城県産の食材を使用した、健康志向の弁当です。本校生徒が、カスミと協力して、オリジナルの弁当を開発しました。

一部店舗販売へ

本校生徒が、カスミと協力して、オリジナルの弁当を開発しました。

介護実習

12月15日(日)~12月18日(木)

福祉系列の2年生が近隣の介護施設で実習を行いました。



進路ガイダンス

12月17日(火)

2年生が進路希望別に分かれて、進路ガイダンスを行いました。進学希望者は水戸の進学相談会に参加、就職希望者・公務員希望者は3年生で就職が内定している生徒や公務員試験に合格している生徒との模擬面接や座談会を行いました。



英語宿泊研修会

1月5日(日)・6日(月)

Check in (チェックイン)

House Tour (施設案内)



Survival English (質問の仕方)



Describing Things (物事を説明する)



Cooking

生徒たちは楽しく研修をすることができ、最後にはちょっとした英語にも反応できるようになっていました。

日タイ交流

12月11日(水)~12月20日(金)



キャンパスン高校生の70名が

タイ語の学習

民族衣装体験

生け花体験

ホアヒンビーチ

民族楽器体験

タイのデザート

カーニオ・マンガン

(株)エコータイ工場見学

部活動の記録

ウエイトリフティング部

安嶋千晶さん(2ic・南中)が『週刊新潮 1月2・9日新年特大号』の「目指せ金メダル! 2020年東京五輪のヒロインたち」の欄に掲載されました。



JRC部 12月26日(水)

池田保育所で読み聞かせのボランティアをしました。



運動部 12月20日(金) 加圧トレーニング体験会

ゼノア(加圧トレーニングウェアメーカー)の内山氏と野球部大高監督の大学の先輩でありZETT(野球用品を中心としたスポーツメーカー)の平野氏が来校し、運動部の生徒に対しトレーニング体験会を行いました。



新シリーズ 各界で活躍するOB達

水戸市立博物館に勤務する藤井達也さん (平成19年3月卒)

藤井さんは高校卒業後、茨城大学に進学、茨城大学大学院を終了して、現在は水戸市の市立博物館に学芸員として、水戸の歴史や自然の魅力を発見し、それを伝える仕事をしています。自然部門を担当していて、自然資料(複製標本等)を使用した展示、学校等への教育普及事業に携わっています。

現在は特別展「天空を翔る鳥たち―千波湖畔に生きる―」を担当していて、その準備に力を入れているそうです。



シリーズ 楽しい授業の小道具達

斉藤和義さんから贈られたギター

社会科のK先生が、斉藤和義さんのライブを見に行った際に、東日本大震災の被災地の学校にギターを贈っているという活動を知り、ライブの感想を添えてメールを送ったところ、寄付していただいたものです。斉藤さんは所有していた80本のギターをオークションに出し、その収益でこの活動をしています。本校にも10本のギターが届き、生徒達が自由に練習をしています。

